



*** 平成25年度女性ネットワーク委員会テーマ ***

うけとめよう、わが子のぜんぶ

信頼関係を深め、自立へ導く親の役割

親にとっての願いは、なによりも愛する我が子の幸せです。女性ネットワーク委員会では、子どもたちの命と未来を守るために、女性の視点で子どもたちを取り巻く喫緊の課題を捉え、共通の課題に向かって、問題解決のために学んだ知識や情報を口コミで伝え広めることで、その解決にあたることを旨としています。

昨年度は、発達段階に応じた子どもに必要な愛情のかたちについて考え、親子の信頼関係づくりと子どもの道しるべとなる親の在り方について活動してきました。近年の問題として、メディアツールによるコミュニケーションの常態化など、子どもの心の問題や変化が親に見えにくくなっているという現状があります。しかし、私たちはそのような中でも、子どもに深い愛情を注ぎ、自立をさせていく責任があります。そこで、今年度は昨年度のテーマ“子どもを自立に導いていく親の関わり方”について更に深く掘り下げ、次の点に重点をおいた活動を展開していきます。

◇◇子どもの生きる力を育む◇◇

子どもが、やがて自らの力で道を切り開き、力強く生きていくためには、小さな失敗をしながらも成功体験を積み重ねていくことが必要となります。子どもは、さまざまな壁にぶつかった時に自分の力でその壁を乗り越えることで、生きる力がついていきます。そのために、親は成長過程に伴い距離感をはかりながら、我慢強く見守ることも必要になるでしょう。子どもが自分の力で前に進もうとする意欲を大切に、子どもの成長に伴った距離感を考えながら深い愛情で支え、自立を促すことのできる親の関わり方について考えます。

◇◇家庭で育むコミュニケーション能力◇◇

子どもは、家族の心のふれあいを通して、人の役に立つ喜びや、相手の立場にたち物事を考えることなど、人と人との関わりかたを覚えていきます。そして、大人になるまでには、さまざまな場面で少しずつ人間関係を築きながら、自然にコミュニケーションがとれるようになることが望めます。近年、子どもたちが人とつながるために、ネットやメール

が用いられる傾向がありますが、他者との心と心の結びつきを深めるために、どのように人と向かい合ったらいのか、またコミュニケーションツールとしてのメディア利用に関しては、親として子どもとしっかりと関わりを持つなど、やがて社会人として生きていくために必要な本来のコミュニケーション能力を身につけるための家庭の在り方について考えていきます。

◇◇命の大切さについて伝える◇◇

現代の子どもたちは、以前に比べると生活環境が大きく異なり、自然の中で小動物などの命とかかわっていく経験や家族の生死の場面に立ち会うことが少なくなっています。このような中で、親は命をつなぐものとして、さまざまな場面で子どもと向き合い、命の持つ意味とその尊さについてしっかりと伝えていかななくてはなりません。そして、愛情に満ちた親子関係を通して深い信頼関係を築きながら、子ども自身がこの世に生まれてきた喜びを感じ、自分の存在価値を見出し、自他の命を大切にすることができるように育むための親の役割について考えます。

女性ネットワーク委員会活動指針

発達段階に応じた子どもに必要な愛情のかたちについて考え、親子の信頼関係づくりと自立へ導く親のあり方として、次の点に重点をおいた活動を展開していく。

- 子どもの生きる力を育む。
- 家庭で育む子どものコミュニケーション能力。
- 命の大切さについて伝える。